

■ 指定管理者制度導入施設 年度評価シート ■

評価年度	令和7年度
------	-------

1 基本情報

公の施設名	市民・大学交流センター（ユニコムプラザさがみはら）
指定管理者名	公益社団法人 相模原・町田大学地域コンソーシアム
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日
施設設置条例	相模原市立市民・大学交流センター条例
施設の設置目的	市民と大学等との連携により、地域の課題の解決及び地域の活性化を図る （相模原市立市民・大学交流センター条例第2条）
施設概要	・所在地 南区相模大野3丁目3番2-301号 ・床面積 2,965.82㎡ ・構造 鉄筋コンクリート造 ・施設 セミナールーム1・2、実習室1・2、ミーティングルーム1・2・3・4・5 マルチスペース、AVスタジオ、シェアードオフィス1・2・3、 大学情報コーナー、地域情報コーナー
施設所管課	市民局 市民協働推進課

2 管理実績

項目（単位）	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
有料施設利用者数合計（人）	34,162	58,011	96,434	105,033	108,567	106,343	
利用料金合計（円）	12,368,435	24,217,866	34,299,916	35,416,843	41,986,889	42,569,008	

3 成果指標の達成度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
C	4つの指標の達成度平均が86.6%のため、評価基準に基づき評価は「C」とする。全体平均では目標未達となったものの、施設の設置目的である市民と大学との連携に注力し、橋渡しや地域づくりプロジェクトの指標達成の維持に努めたことや、新たな事業に積極的に取り組んでいることを評価する。今後は更なるアウトリーチを行い、関係機関との関係性の深化に向けた取り組みに期待する。 ■指標1の達成度については、コロナ禍前の数値を基準とした目標値に対して68.2%となっている。前年度同様、コロナ禍後のリモート環境の一般化や、利用料金の改定等の影響も考えられる。 ■指標2の達成度については、(1)シェアードオフィス72.6%、(2)大学情報コーナー89.2%、(3)地域情報コーナー89.8%となっている。シェアードオフィスについて、前年より利用率が上がっており、広報媒体での周知等、利用率改善に向けた取組を行っていることを評価する。 ■指標3の「市民と大学との橋渡し」については、29件で前年度より1件増加し、引き続き目標値を達成したことを評価する。 ■指標4(1)は3事業を地域づくりプロジェクトとして新規に認定したことにより、対話の場の数の達成率が75%であった。指標4(2)の実施したプロジェクトの本数については、目標の7件に対し、7件の実績値となり、目標を達成した。今後は実施したプロジェクトの公開報告会を行う等、事業の更なる周知に努めていただきたい。

指標 1	
指標名（単位）	【指標 1】有料施設の利用率（シェアードオフィス、大学情報コーナー、地域情報コーナーを除く）（％）
指標式と指標の説明	指標式：有料施設の利用コマ数／有料施設の利用可能コマ数×100 有料施設の利用率を指標とすることで、施設の活用を図るとともに、施設利用者への施設の設置目的の認知度向上を推進するもの。

項目（単位）	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値（％）	84.0	85.0	77.0	79.0	81.0	83.0	85.0
実績値（％）	58.5	57.2	63.5	62.3	57.3	56.6	
達成度（％）	69.6%	67.3%	82.5%	78.9%	70.7%	68.2%	-

指標 2（1）	
指標名（単位）	【指標 2（1）】有料施設の利用率（シェアードオフィス）（％）
指標式と指標の説明	指標式：利用日数／利用可能日数×100【①個人〈30名〉、②団体〈8団体〉、③大学〈4大学〉】シェアードオフィス、大学情報コーナー、地域情報コーナーの利用率を指標とすることで、大学の情報の発信及び地域活動及び市民活動を推進するとともに、大学との連携を図っていくもの。 ※指標式の利用日数／利用可能日数はコマ数に準ずる。

項目（単位）	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値（％）	84.0	85.0	42.0	46.0	50.0	54.0	60.0
実績値（％）	34.7	29.4	28.7	33.9	32.3	39.2	
達成度（％）	41.3%	34.6%	68.3%	73.7%	64.6%	72.6%	-

指標 2（2）	
指標名（単位）	【指標 2（2）】有料施設の利用率（大学情報コーナー）（％）
指標式と指標の説明	指標式：利用日数／利用可能日数×100【（大）〈15ブース〉、（小）〈3ブース〉】シェアードオフィス、大学情報コーナー、地域情報コーナーの利用率を指標とすることで、大学の情報の発信及び地域活動及び市民活動を推進するとともに、大学との連携を図っていくもの。 ※指標式の利用日数／利用可能日数はコマ数に準ずる。

項目（単位）	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値（％）	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実績値（％）	113.3	120.0	120.0	120.0	113.3	89.2	
達成度（％）	113.3%	120.0%	120.0%	120.0%	113.3%	89.2%	-

指標 2（3）	
指標名（単位）	【指標 2（3）】有料施設の利用率（地域情報コーナー）（％）
指標式と指標の説明	指標式：利用日数／利用可能日数×100【（小）〈9ブース〉】シェアードオフィス、大学情報コーナー、地域情報コーナーの利用率を指標とすることで、大学の情報の発信及び地域活動及び市民活動を推進するとともに、大学との連携を図っていくもの。 ※指標式の利用日数／利用可能日数はコマ数に準ずる。

項目（単位）	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値（％）	84.0	85.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実績値（％）	98.4	93.6	97.2	94.4	91.7	89.8	
達成度（％）	117.1%	110.1%	97.2%	94.4%	91.7%	89.8%	-

指標3							
指標名（単位）	【指標3】地域活動や市民活動を行う市民と大学との橋渡し件数（件）						
指標式と指標の説明	市民（市内で活動する個人、団体、NPO、企業等）と大学が連携して、地域の課題解決や活性化を実現するための助言や企画提案等を行った件数を指標とすることで、センターの設置目的の達成を図るもの。 ※対象自体の企画・運営にセンターが携わり、助言・企画提案を行ったものとする。（募集・事業の周知を除く）						
項目（単位）	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値（件）	26	26	27	28	28	29	29
実績値（件）	28	27	21	24	28	29	
達成度（％）	107.7%	103.8%	77.8%	85.7%	100.0%	100.0%	-
指標4（1）							
指標名（単位）	【指標4（1）】「地域づくりプロジェクト」の対話の場の数（回）						
指標式と指標の説明	「市民と大学が地域課題の解決や地域の活性化を目的とした交流、研究、対話等を行う機会を提供する業務」の成果を測る指標の1つ目として設定することで、センターの設置目的の達成を図るもの。 『地域の課題解決等に向けて具体的テーマに沿って定期的に活動を行う団体（市民、大学）を募集し、大学と地域との連携を望む事業を認定する。その後、当該団体と取組の内容、方法、目的等について、様々なアイデアを出し合い企画、立案、検討等を行う機会。』						
項目（単位）	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値（回）	4	4	4	4	4	4	4
実績値（回）	7	4	5	4	4	3	
達成度（％）	-	-	125.0%	100.0%	100.0%	75.0%	-
指標4（2）							
指標名（単位）	【指標4（2）】実施した「地域づくりプロジェクト」の本数（本）						
指標式と指標の説明	「市民と大学が地域課題の解決や地域の活性化を目的とした交流、研究、対話等を行う機会を提供する業務」の成果を測る指標の2つ目として設定することで、センターの設置目的の達成を図るもの。 『プロジェクトを進行させるため、協力する大学が1つ以上あり、企画段階で出されたアイデアを実践することや、目的の達成のために必要な人材の募集や資源の収集などを行うことで、プロジェクトとして設定した目的に沿った事業を実施する。』						
項目（単位）	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値（本）	4	5	5	6	6	7	7
実績値（本）	0	0	0	1	7	7	
達成度（％）	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	116.7%	100.0%	-

4 事業の実施状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	評価基準に基づき、評価は「A」とする。 ■事業計画書①について、大学との連携に係る減免利用数が増加していることを評価する。今後も設置目的の達成に向け、市民と大学との連携事業での利用を増やす取組に期待する。 ■事業計画書②について、施設の魅力を発信するための新たなパンフレット作成等の取組を行ったことを評価する。 ■事業計画書⑥について、オーサーズカフェの参加者が延べ1,365名〔前年度比+492名〕と、大幅に増加したことを高く評価する。今後も施設来所者を増やす取組に期待する。 ■自主事業については、更なる事業の充実に期待する。

市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
大学連携に係る施設利用等に関する事業 事業計画書①	通年	大学連携に係る施設利用等に関する事業	○
	通年	【大学連携に係る施設利用】 大学との連携により地域の課題の解決又は活性化を図るための事業のための利用 ■大学連携に係る減免利用数：29件〔前年度比+15〕	
	通年	【団体登録】 大学等との連携により地域の課題解決又は活性化を図るための事業を施設にて実施する団体の登録 ■登録団体数：36団体〔前年度比-2〕	
さがみはら地域づくり大学の運営等に関する事業 事業計画書⑤	通年	地域活動や市民活動への参加方法を知り、活動に結びつけ、更に活動を牽引する担い手づくりを目的とした事業	○
	7月～12月	【さがみはら地域づくり大学】 市民等が、協働の観点での地域活動及び市民活動を促進するために役立つ知識や技術を体系的に学ぶことのできる場の提供 ■講座数：16講座 ・公開講座：2講座、市民企画講座：2講座 ・地域活動コース：4講座、専門講座：8講座 ■受講者数《目標値：コース受講者数：22名》 ・講座受講者数：42名〔前年度比-15〕 ・コース受講者：14名（うち短縮版コース4名）〔前年度比-15〕 ・コーディネーターズサークルメンバー新規登録者数：9名〔前年度比-15〕	
	通年	【コーディネーターズサークル】 修了者の活動のフォローやスキルアップ、修了者同士の交流に繋がる機会の提供 ■開催数：3回、延べ参加者数71名 ・令和7年度は市民活動サポートセンターとの連携に取り組み修了者への活動の場の提供に注力した。	

企画提案事業			
主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
大学の研究教育活動や地域連携の取組等の情報を発信する事業 事業計画書②	通年	情報コーナー出展大学・団体による地域貢献の取組事例や市民・他団体、大学との連携について紹介する事業	○
	通年	【大学地域連携事例集の発行】 センターの橋渡し機能の周知のため、好事例を事例集として発行した。 ■センター窓口での配架、ホームページ掲載 公民館会議に参加し、事例紹介を行った。	
	通年	【学生を主体とした事業】 学生が主体的に地域で活動できるように、地域団体との連携や協働、センター事業への参画を促進する事業例）・地域団体の広報支援(ポスター・チラシの作成、インスタグラムによる情報発信)	
	通年	【施設及び事業の広報・PR】 センターの利用、市民と大学との連携促進を目的としたPR ■ホームページ ■SNS (Facebook、Twitter、Instagram) ■イベント・事業のチラシ ■新規施設紹介パンフレットの作成	
地域活動や市民活動を行う市民と大学との橋渡しをする事業 事業計画書③	通年	市民と大学が連携を深め、課題を共有し、大学の専門性と人材を活用して地域課題の解決や地域の活性化に取り組むための橋渡し事業	○
	通年	【市民・大学等のニーズ・シーズ把握調査】 ・市民のニーズ・シーズ：シェアードオフィス入居者、登録団体、施設利用者から活動情報等の聞き取りをし、橋渡しの可能性のある団体などへは情報提供や支援を行っている。 ・大学のニーズ・シーズ：コンソーシアム加盟大学及びセンターの大学情報コーナーを利用している大学との面会を通じ、情報収集を行っている。	
	通年	【市民と大学等の連携支援】 ■橋渡し相談受付件数：37件 ■橋渡し成立件数：29件	
	通年	【シェアードオフィス交流会】《年間12回計画》 入居者同士の連携、協働を目的とした交流会 ■開催数：12回	
市民と大学が地域課題の解決や地域の活性化を目的とした交流、研究、対話等を行う機会を提供する事業 事業計画書④ まちづくりモデル事業《指標4(1)》、 まちづくりプロジェクト《指標4(2)》は 「3成果指標の達成度」にて評価している	通年	実行力を持つ市民と大学が交流する場を設定するとともに、協働して研究する機会を提供する事業	○
	通年	【学生を主体とした事業】 学生が主体的に地域で活動できるように、地域団体との連携や協働、センター事業への参画を促進する事業例）・地域団体の広報支援(ポスター・チラシの作成、インスタグラムによる情報発信) ・まちづくりフェスタへのボランティア参加 ・市食材支援事業との連携企画の検討 ・ソフトバンク株式会社との共催で、学生主体の社会課題解決アイデアコンテストを実施	
	通年	【学生インターンシップ】 施設でのインターンシップ受入れによる学生支援 ■受入数：6名	
	①交流展示会 10月1日～31日 ②イベントデー 10月29日(日)	【まちづくりフェスタ】《年間1回計画》 まちづくりをテーマとした市民と大学の協働事業の成果を発表・共有し、交流を図る事業 ■出展：①25団体 ②28団体 ■来場者：②509名	

センターの利用促進を図り、施設の活性化を促進する事業 事業計画書⑥	通年	センターの利用と、市民と大学との連携の促進を目的としたPR活動・情報発信する事業	◎
	通年	【フリースペースの活用】 大学や学生団体等の活動発表の場として、フリースペースを提供。 例) ・大学・高校等の作品展を開催 ・まちづくりプロジェクト団体の情報をホワイトボードに掲示 ・地域づくり大学受講生の成果物・活動内容の展示	
	通年	【オーサーズカフェ】《年間24回計画》 市民向けに「身近な話題をテーマにした講座」を実施し、施設来所者を増やす事業 ■開催数：24回 ■参加者：延べ1365名〔前年度比+492名〕	
	通年	【ユニコムセミナー】《年間3回計画》 大学との連携を希望する個人・団体と大学が交流する場 ■開催数：16回 ■参加者：計315名	
センターの利便性向上を図る業務 事業計画書⑦	通年	利用者アンケートの結果からの改善により、利用者への利便性、サービス向上を図る事業	○
	通年	【利用者からの要望対応】 利用者アンケート・満足度調査などで得られた利用者からの意見の反映 ■対応内容：学生服回収ポストを目立つ所に置いて欲しいといった意見に対し、事務室前に移設し対応した。	
	通年	【調査報告書の公開】 調査報告ならびに結果を施設ホームページで公開した。	
協働推進拠点間の連携及び団体間の交流機会の創出 事業計画書⑧	通年	センターが市民・大学や協働推進拠点と連携して、各主体の地域活動を支援する事業	○
	通年	【協働委員会】 団体間の交流の場として、相互の活動紹介や情報交換等が行える機会を創出し、協働による取組みを構想したが、具体的なスキームを検討する中で、委員会とは別の形で取り組むこととし、令和6年度より、センターのプラットフォーム機能の充実を図っている。	
	通年	【センターにおける市民との連携】 センターと市民(市内で活動する個人、団体、NPO、企業等)とで連携した取組 例) ・10月に開催したまちづくりフェスタには多くの市民団体や大学、学生が出展し、交流が生まれた。	
	通年	【センターにおける大学・学生との連携】 センターと大学とで連携した取組 例) ・大学ゼミの取組展示 ・美術系大学学生の作品展示 ・学生ボランティア団体によるイベント ・施設事業での大学教授への講師登壇	
	通年	【センターにおける市各課・関連施設との連携】 センターと市各課・関連施設とで連携した取組 ■さがみはら市民活動サポートセンター ・市民活動相談会、市民活動情報コーナーの設置 ■環境情報センター(エコパークさがみはら) ・地域情報コーナーに出展 ・広報の相互協力 ■その他 ・ソレイユさがみとの広報の相互協力 ・まちのコイン「すもー」の活用	

自主事業			
主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
チャレンジショップ	通年	【チャレンジショップ】2回実施 センターと大学の知名度向上や、学生の社会経験や起業を期待して、大学の資源をセンター内で提供する取組 ・和光大学芸術学科詫摩ゼミによる学生制作の絵画作品の展示販売(7月) ・横山公園での養蜂による関連物品の販売(7月)	○

5 利用者の満足度

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
A	達成度が105.4%のため評価基準に基づき、評価は「A」とする。 ■昨年度に引き続き560件というサンプル数の中で高い満足度であることを評価する。施設の利用率が低下しているが、実際に利用した方からは高い満足度を頂いている。今後も、継続して満足度の向上に努めていただきたい。 ■オンラインを活用したアンケートを試行し、より満足度の高い運営を目指している点を評価する。 ■施設運営への理解が概ね得られている一方、少数ではあるがやや不満・不満といった意見もある。そのため、職員間で共有し改善することで、今後の運営に役立てていただきたい。

利用者満足度調査	
調査手法/サンプル数	各部屋及び窓口にアンケート用紙を設置し、利用終了後に施設の入口横に設置した回収箱または窓口にて回収。 ■560件《調査期間：R7.1.4～2.28：56日間》
目標値の基準	一般利用者の施設に対しての満足度、利用者の性別、年齢、住まい、職業、利用頻度、利用目的及び利用頻度などを調査した。 目標値は、次の10項目について、「やや満足」以上の評価平均が90%以上であることとした。 ①利用のしやすさ ⑥地域づくり大学 ②設備や備品について ⑦まちづくりフェスタ ③職員の利用者への接し方 ⑧まちづくりモデル事業 ④オーサースカフェ ⑨橋渡し・相談事業 ⑤市民・大学交流会 ⑩総合的な満足度

項目(単位)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値(%)	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
実績値(%)	95.5	97.4	96.9	96.2	95.4	94.9	
達成度(%)	106.1%	108.2%	107.7%	106.9%	106.0%	105.4%	-

その他の取組		
取組事項	時期	取組内容
オンラインアンケートの試行(164件)	令和8年1月～2月	施設利用者向けにLINE登録(市内・外)を促し、調査時に登録者に対してオンライン上で、Googleフォームによるアンケートを実施。施設内の机や、紙のアンケート用紙にもQRコードを記載。

6 施設の経営状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
B	事業収支、全体収支としては赤字のため加点なし、法人の財務状況としては特段の課題はないため加点10点とする。計10点として評価基準に基づき、評価は「B」とする。 ■本体事業収支、全体収支は約129万円の赤字となっているが、消耗品の節約をするなど、自主的な努力を行ったことを評価する。 ■収入が昨年度より減少しているため、収益確保を目的とした自主事業を実施する等、健全な施設運営に努めていただきたい。 ■法人全体の正味財産増減計算書では2年連続で増収減益となっており、ここ2年間は経常収支が赤字である。特に公益事業の損失が大きく、前年より赤字が大きくなっている。法人全体としての経営状況としてはあまり良くない状況だが、現預金もある程度あり、正味財産も赤字額より大きいので、すぐに問題となることはないと思われる。ただし、この状況が続くようだと若干の懸念ありになる可能性がある。

施設の収支概要		※直近3年間について記載 (千円)		
項目		令和5年度	令和6年度	令和7年度
収入 (a)		75,935	75,174	73,312
指定管理料		35,996	30,159	27,481
利用料金収入		37,964	44,312	44,923
その他の収入		1,976	703	908
支出 (b)		76,058	77,013	74,606
人件費		47,371	47,109	45,441
本社管理経費		2,918	2,918	2,918
その他の支出		25,769	26,986	26,247
本体事業収支 [(a)-(b)] (c)		-123	-1,839	-1,294
自主事業収入 (d)		0	0	0
自主事業支出 (e)		0	0	0
自主事業収支 [(d)-(e)] (f)		0	0	0
全体収支 [(c)+(f)]		-123	-1,839	-1,294
備考	(a) 収入は、前年度比較では2.5%減 ・指定管理料は、利用料金改定に伴う減額により8.9%減 ・利用料金収入は、利用料金の増額により1.4%増 ・その他の収入は、補助金収入により29.2%増 (b) 支出は、前年度比較では3.1%減 ・人件費は、職員退職により3.5%減 (c + f) 全体収支は、約129万円の赤字となっている。			
団体の財務状況	団体本体の経営状況について特段の問題はない。			

7 管理業務の履行状況

検査方法	市チェックリストに基づき、指定管理者へのヒアリング・現地確認により検査を実施	
実施時期	令和7年11月	
検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

8 ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成	有
-----------	---

ウェブアクセシビリティの取組項目	取組状況
機種依存文字を使っていない。	○
ページ内の文字の大きさを変えることができる。	×
単語の途中にスペースや改行を入れていない。	○
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。	○
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。	×
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。	×
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。	○
その他取り組んでいること	-

9 指定管理者の自己評価

■市民と大学との連携事業について

社会課題解決アイデアコンテストを昨年度に引き続き、ソフトバンク株式会社とセンターの共催で開催しました。大学4校7チームが参加し、活発な意見交換が行われました。オーサズカフェについては10大学のご協力により年24回開催し、参加者数は延べ1,365人と昨年度よりも大幅に参加者数を増やすことができました。また橋渡し事業については近隣10大学のご協力により、成果指標を超える29件の成果を収めました。

■関係機関との連携について

令和7年度は当センターの事業推進のため、さがみはら市民活動サポートセンターとの積極的な連携を行いました。特にコーディネートサークル(地域づくり大学卒業生の集まり)への市民活動参加機会の創出に協力いただきました。また、公民館会議へ参加し当センター事業の紹介を行い、社会福祉協議会や青少年学習センターにも学生活動支援のご協力をいただく等、連携を深めることができました。

■多様な情報発信について

機関誌の発行、SNSによる情報発信等、積極的な情報発信に努めました。また、これまでの施設紹介パンフレットに加え、当施設の多彩な活用を紹介する『ユニコムパンフ』を制作する等、情報発信を強化しました。

■施設利用の推進について

シェアードオフィスについて、事前相談においてコンサルティングを行うことで入居団体を増やしました。次年度入居相談も既に3団体あります。また交流会を開催し利用の支援を行うとともに、センターが主催する事業の情報を適宜提供することで、施設利用の推進を図りました。

10 所管課意見

■市民と大学との連携事業について

ソフトバンク株式会社とセンターとの共催で社会課題解決アイデアコンテストを実施する等、指定管理者独自の発想による事業を継続して行っていることを評価する。またオーサズカフェ等の企画提案事業についても大幅に参加者が増える等、効果的な事業実施に努めていることを評価する。

■関係機関との連携について

施設の事業推進のため、さがみはら市民活動サポートセンターや社会福祉協議会、青少年学習センター等、様々な機関との連携に努めていることを評価する。今後も連携を継続し、より地域活動団体や市民活動団体との関係性を構築できるよう努めていただきたい。

■施設の情報発信について

機関誌のユニコムペーパーの発行に加え、職員の試行錯誤による新規パンフレットの作成・発行等、様々な取組に努めていることを評価する。今後はSNS更新頻度の増加や職員のアウトリーチによる連携事例の発信等、さらに効果的な情報発信及び取組に期待する。

■施設の経営状況について

人件費・物価高騰等社会情勢が不安定な中で、創意工夫を凝らして施設を運営していることを評価する。今後は収入確保を目的とした自主事業の展開にも期待する。

11 選考委員会意見

■施設の利用促進について

課題であったシェアードオフィスの利用状況が改善しており、積極的な誘致に取り組んだことを評価する。

■施設の経営状況について

事業収支の赤字が継続しているため、収支改善に取り組んでいただきたい。

■施設の広報活動について

パンフレット等の情報発信に工夫を凝らしたことを評価する。今後は更なる取組の周知のため、SNSやホームページを十分に活用し、認知度向上に取り組んでほしい。

■施設の更なる機能強化について

施設全体で優れた取組を行っているので、今後も積極的な大学生との連携や、交流の場としての機能を高めていただきたい。また、様々な主体との連携を充実させ、取組の広報・啓発活動を行うことを期待している。

総合評価（自動判定）

B

(60/100)

